

沖縄に行って学んだこと

網走市立呼人中学校 一年

永山 貴博（ながやま たかひろ）



今回の沖縄平和都市友好交流事業を通して、たくさんのことを学び、心に残る経験をすることができました。

一日目は、飛行機での長い移動で少し疲れましたが、沖縄に到着するとさっそく伝統的なお菓子「サーターアンダギー」を作る体験をしました。作ったサーターアンダギーはとても美味しく、沖縄の文化に触れられたことが嬉しかったです。長い移動での疲れも、美味しいお菓子を食べることで吹き飛びました。

二日目は、沖縄戦について深く学ぶ一日となりました。平和記念資料館を訪れ、久保田さんのお話を聞きました。特に心に残ったのは、「戦争があの人々の心を変えたんだ」という言葉です。その一言から、戦争が人々の心や人生に大きな影響を与えたことを強く感じました。資料館では、戦争によって多くの命が失われた事実を知り、展示されている写真や資料から戦争の悲惨さを実感しました。さらに、ひめゆりの塔を訪れ、当時の女子学生たちがどれほど大変な状況に置かれていたのかを学び、胸が締めつけられる思いがしました。今自分たちが平和な日常を送れていることは、決して当たり前のことではなく、先人たちの犠牲の上に成り立っているのだと実感しました。この日を通して、改めて平和の大切さについて深く考えることができました。

三日目は、美々ビーチで沖縄ならではの自然と文化をたっぷりと体験しました。透き通った海や白い砂浜はとても美しく、目の前に広がる景色に感動しました。特に印象的だったのは、サバニという伝統的な舟に乗ったことです。サバニは昔から沖縄の人々の生活に欠かせないもので、その舟に実際に乗ることで、沖縄の文化や歴史を肌で感じることができました。さらに、バナナボートでは友だちと一緒に海を走り抜け、スピードに驚きつつも、楽しかったです。忘れられない時間になりました。海でのアクティビティを通して、自然の美しさと海で遊ぶ楽しさを心から実感しました。夜にはみんなで焼き肉を食べました。美味しい食事を囲みながら、昼間の体験を振り返って話したり、笑い合ったりして、とても楽しい時間を過ごすことができました。

四日目は、自然のビーチに行き、沖縄の海の美しさを改めて感じました。その後、道の駅「遊食来」に立ち寄り、お土産を買いました。地元ならではの特産品を手に取り、沖縄の文化が生活の中に根付いていることを実感しました。那覇空港に到着して保安検査場を通過した後は、移動の疲れから椅子でしばらく休んでいました。羽田空港に到着すると、厚木の友達と別れることになり、とても寂しい気持ちになりました。この旅で一緒に過ごした仲間との時間が、自分にとってどれほど大切なものになっていたのかを強く感じました。

今回の沖縄平和都市友好交流事業を通して、私は沖縄の文化や自然を楽しむだけでなく、戦争の歴史や平和の尊さを学ぶことができました。また、仲間と一緒に行動し、体験を共有することで、人とのつながりの大切さも実感しました。この経験は、これからの自分の人生において大切な学びになると思います。沖縄で得た思い出や学びを胸に、これからも日々を大切に過ごしていきたいです。